# 特集 輝きつづける春
## ～それぞれの節目～

1面では、閉園を迎える久保保育園・上湯江保育園に関して、
2面では「うららかな春に願う」と題し、就労継続支援事業所の方にご寄稿いただきました。

発　行
君津中央公民館
君津市久保2-13-2
TEL.0439(50)3980
FAX.0439(54)9888

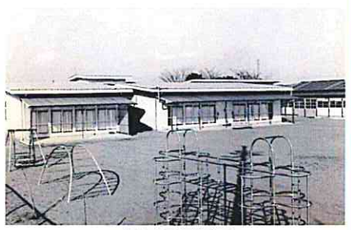
## ありがとう!! 久保保育園 上湯江保育園

長年、たくさんの子どもたちを育み、送り出してきた久保保育園と上湯江保育園は、閉園を迎えます。

君津町立第１保育所（久保保育園）

久保保育園は昭和30年に地域住民の要望に応え「君津町立第1保育所」として開設されました。社会情勢の変動や製鉄所の進出による人口急増に対応するため、保育室の増設を重ね、昭和47年に「久保保育園」に名称を変更、翌年には現在の園舎が建設されました。

上湯江保育園は昭和44年貞元小学校の教室を借り、無認可保育所として開設されました。翌年には、現在の園舎が建設され、当初は第三保育所の名称が使われていました。


上湯江保育園

各保育園とも近づいてくるお別れに向けて、お楽しみ会や遠足など、例年ある行事にひと工夫し、思い出づくりをしてきました。君津中央公民館文化祭で展示した各保育園の作品も、園児みんなで協力して作ったものでした。

閉園前の保育園にお邪魔すると、子どもたちの笑顔があふれ、愛情たっぷりの保育園の先生との日常を垣間見ることができました。

## 園から地域のみなさんへ

これまであたたかく見守ってくださり、ありがとうございました。5月から心機一転「みふねの里保育園」で新しくスタートを切りますので、これからも子どもたちと園の見守りをよろしくお願いします。

■久保保育園、上湯江保育園、常代保育園に保管されていた昔の写真の展示会を生涯学習交流センターギャラリーにて行います。（4月6日～4月14日）

◀上湯江保育園

▲久保保育園

## 進む「君津市立みふねの里保育園」開園準備

4月末「みふねの里保育園」（君津市貞元３０３）が開園予定です。みふねの里保育園には「子育て支援センター」も併設しており、同時にオープンの予定です。

※現在の君津市子育て支援センター（南子安1-12-17）は3月末で閉所します。

## ありがとう久保保育園

### 久保保育園　保護者　會澤　ゆきみ

切れ目なく十五年、久保保育園に子ども達四人がお世話になりました。はじめは、「家から一番近い保育園だから」と入園希望しましたが、今では「久保保育園に子どもを預けたい」と強く思うまでに、久保保育園のとりことなっています。

いつも温かく子ども達をみて、親が気づかない姿も教えてくださる先生方には、感謝しかありません。親の話も親身に聞いていただき、子育て中どれだけ助けられたか…子どもだけでなく、親も育てていただきました。あたたかく笑顔いっぱいの久保保育園のよいところが、新しい園に引き継がれますように。

### 五年前の四月　上湯江保育園　保護者　古原　沙央里

初めての子育てに不安を抱えながらの仕事復帰。ずっと一緒にいた息子と離れるのは、不安や心配、寂しさがありました。しかし、そんな気持ちも今では感謝の気持ちでいっぱいです。出来るようになった事、失敗しちゃった事、頑張った事、家族の様に一緒に喜び、一緒に考えてくれた先生方。息子の「保育園楽しいよ！」「先生、大好き」と聞くたびに上湯江保育園に入れて良かったなと心から思いました。一人ひとりの個性を大切に伸び伸びと過ごさせて頂き、本当にありがとうございました。

## 君津中央公民館 開館60周年記念事業 実行委員募集

君津中央公民館は、昭和39（1964）年11月20日に開館。令和６年度に60周年を迎えます。

ともに60周年を盛り上げてくださる方を募集します。ぜひ君津中央公民館までご連絡ください。（0439-50-3980）



## ゆうゆう一家 No.37 たまみ

### 「ゆうゆう一家」完結

2012年10月18日、（337号）から12年にわたり連載してきた「ゆうゆう一家」が最終回を迎えました。ほほ笑ましいエピソードの数々をありがとうございました

令和６年 周西南中学校区20歳の集い
令和6年1月7日、87名が「つどい」に参加し、大人への自覚を新たにしました。おめでとうございます！

## 「人と人とのつながり」を大切にした公民館事業

コロナ禍で失われたつながりの再構築や、新たなつながりづくりを意識した事業展開を行いました。主なものをご紹介します。

### 子どもパラダイス

地域の子どもと大人の世代間交流を目指した子どもパラダイスは、夏休みと冬休みの時期に計4回実施。各回、複数の団体のみなさんと協力して準備・運営を行いました。ご協力いただいたみなさんありがとうございました。

お菓子のクリスマスツリー作り

### 助けあい・支えあい広場「あいあいカフェ」

障がい者への理解を深めることと、相互の支えあい促進を目指し、12月から試行的に始めました。地域の障がい者就労支援施設のみなさんと一緒に作るちっちゃなちっちゃなカフェです。運営ボランティアも募集中！

※次回は、ミツバ園ＤＡＹ 3月28日12時～13時です。

みなさんぜひお越し下さい。

### 障がい者の生涯学習推進事業「だんだんダンス」

障がい者の生涯を通じた多様な学びの機会づくり、仲間づくりを目指し、全3回実施しました。学校卒業後は、意識的に体を動かす機会が少ないとのことで、音楽に合わせて楽しく体を動かすことができると、参加者のみなさんに好評でした。

### とまり木おしゃべり会

不登校・学校を休みがちなお子さんの保護者がつながり、悩みを話し合える場として全3回実施しました。

当事者や元当事者の体験談を交えながら、悩みを共有し、つながり合うことの大切さを実感しました。

## 編集後記

「地域に飛び出す公民館」を目指して、自治会ほか様々な団体を取材させて頂きました。どこに伺っても「来てくれてありがとう」と、丁寧に教えてくださいました。私にとって、見るもの聞くこと全てが新発見！どれも貴重な経験でした。皆様に心から感謝いたします。今後も地域密着の話題をお届けしていきます。（美）

「あいあいカフェ」でのんびりと

## ご近所スナップ ～きみつの風景～ Vo.15

「近所のいい場所（トコ）み～つけた」
公民館で活動している写真サークルの皆さんが撮影した写真をご紹介します。

中野陸橋から望む富士山　～写楽～

水道山さんぽ
～君津写真サークル～

# うららかな春に願う

皆さんにとっては今年の春はどんな季節ですか？

「春」といえば…、卒業、入学、就職、異動、定年、役員改選など新しい生活へ向けての節目。また、別れと出逢い、風光るような希望に満ちた印象もある季節です。

今号は、地域にある就労継続支援事業所の方々に、「春はどんな季節ですか」というテーマで寄稿いただきました。

## 仲間たちの頑張りをお祝いしあう春です

たびだちの村・ふれあい通り
モンソレイユ　村上　智洋

モンソレイユは、様々な障害のある地域の仲間が、パン屋さんの仕事を通じて仕事の訓練をする就労継続支援B型事業所です。

開店当初から力を入れているのがベーグルです。国産の小麦粉をこねるところから、成型、トッピング、焼き上げ、お客様にお届けするまでのすべてをみんなで力を合わせて作っています。

毎年この季節は「さくらのシフォンケーキ」もおススメです。「ネコのぬいぐるみストラップ」やお子さん向けの「フェルトアクセサリー」など「パン職人がつくる手芸作品」も人気です。

モンソレイユでは、仕事を頑張った喜びと誇りをみんなで分かち合うことを大切にし、1年目、2年目、3年目・・・と、それぞれ仕事を頑張った1年の節目を、お花を用意してお祝いする会を行っています。

学校を卒業してここのスタッフになった仲間がちょうど1年の節目を迎えるのがこの時期なので、春は、みんなの1年間の頑張りをお祝いしあうイメージが強い季節です。

かわいい手芸作品

パンの生地をこねる

丁寧な手粉ふり作業

大人気商品!!ベーグル作り

## ミツバ園の今

君津市福祉作業所
ミツバ園　伊藤　清美

ミツバ園は平成8年5月、坂田に開園しました。平成28年からは就労継続支援B型事業所として、障害のある方のうち一般企業での就労が困難な人に、雇用契約を結ばないで就労や生産活動を提供しています。

さらに、知識や能力の向上、維持のための必要な訓練等の福祉サービスを提供しています。現在、利用者は24歳～76歳の18名です。

企業からの受注作業では、イースト菌や寒天を箱や袋に詰める作業のほか、お弁当用アルミカップを容器に詰める作業をしています。

自主作業では、お惣菜やお弁当を作り、市役所や高校、近隣の企業等で販売しています。また、「健康と福祉のふれあい祭り」や、「障害者週間」等のイベントでも販売を行っています。

『仕事はせいかくに、ていねいに、たいせつに』をモットーに、一人一人ができることに取り組みながら、楽しく穏やかに過ごせるよう、みんなで力を合わせてこれからも活動していきたいと思います。

春は、地域のみなさんにとってもさまざまな節目だと思います。うれしいこともたいへんなことも、いろいろなことが思い浮かぶ春ですが、仲間たちが心をこめて作ったパンで、みなさんに少しでもホッとできるひと時をお届けできればと思います。

## おじゃします！

久保青年館で毎月開催している「ふれあいサロン」（詳細は370号）は『明るく楽しく元気よく』がモットー。玄関では会長の小川さんをはじめボランティアの方々が笑顔で参加者をお出迎えし会話もはずみます。

クイズで頭の体操をした後、公民館文化祭特別企画で作った「大宮神社久保祭保存会」の映像を上映。

地元の祭礼を熱心に見つめ「迫力がある」「実際に行った時より神輿が近くで見える」など大盛況でした。次にトランプで遊び、楽しい時間は瞬く間に過ぎました。参加者に弁当を手渡しながら「またね」と笑顔で再会を約束していました。

お弁当の準備中！
（南地区社協）

春、新しい一年が始まります。これからも毎月第4木曜日に君津市役所1階ロビーにて、お惣菜やお弁当などを販売していますので、ぜひお越しください。

おまちしています



# 節分の夜空を彩る 郡地区（郡・杉谷・郡の杜・新御堂） どんど焼き

2月3日夕方、郡地区を流れる江川に近い田んぼの中に、大きくて眩しい炎が、夜空に向かって揺らめきながらのぼっていました。どんど焼きの点火をした年男年女の方々や、迫力ある美しい炎を見上げて大きな歓声をあげている人々から「（干支の）龍みたい！」という声も聞こえていました。

当日に先立ち、1月20日に『櫓建て』作業が行われました。早朝から竹の切り出しと運搬作業、大小2つの『櫓』の枠組み作り。櫓の中に「あんこ（木や竹の枝）」を詰め終えた後、櫓全体の形を整えて完成。そして3日の本番までに地域住民が正月飾りや達磨などを櫓に納めました。

日頃から郡ダムで水上スキーを行っている慶應義塾大学水上スキー部と、地域住民との交流が続いており、今年も櫓建ての作業や当日の焼き鳥などの屋台運営で大活躍していました。

皆が協力して建てた2つの櫓の炎と打ち上げ花火、節分の夜の勇壮な火祭りに心から感動を覚えました。

### 郡の「どんど焼き」

正月の松飾り・注連縄・書き初めなどを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという、日本全国に伝わるお正月の火祭り行事。郡地区では平成6年から中断していましたが、平成9年に有志が集まり「どんど焼き実行委員会」を設立。郡・杉谷・郡の杜・新御堂自治会の協力を得て現在も継続しています。

竹を組み、櫓をたてる

# 自治会長随想②

## 地域の「絆」で安全安心な街づくり

久保自治会長　刈込　徹

自治会活動は、お祭りやイベントを通して地域の皆様の親睦を深めること、防災訓練や防犯への取組み、ごみの減量化・資源化の促進等、実に多様で生活に密着したものばかりです。自分のため、地域のために参加することは、大変意義のあることだと思います。

タオルを掲げて
家族の無事を知らせる

さて、近年は気候変動により台風の大型化・線状降水帯の発生や各地で頻発する地震によって甚大な被害が出ております。久保自治会では、令和元年度より『無事ですタオル』掲示訓練を取り入れ、防災意識の高揚を図っています。『無事ですタオル』活用の最大の利点は、有事の際に地域住民の「迅速な安否確認」と、救助が必要な方に「いち早くたどり着く」手段であることです。

自治会活動を通じた、日頃からの地域とのかかわりが、いざという時に大きな力となり、それが「地域力」の向上に繋がると信じています。

自治会活動の持っている重要な役割をご理解いただき、積極的な参加を切望いたします。

久保　納涼祭
（高畑公園にて）

## 地域の絆でまちづくり

杉谷自治会長　飯嶋　四郎

昨年四月から杉谷自治会長を務めさせて頂いております。

杉谷自治会は戸数十七戸の極小自治会であります。またご多分にもれず高齢化が進んでおり、災害時の対応など問題は山積しております。

単一の自治会としては大した活動はできていませんが、近隣の郡・郡の杜・新御堂の各自治会と協力し活動しております。

特に郡春日神社を中心とした、元日の歳旦祭、二月のどんど焼き、田植期の代掻き・早苗振り祭、秋の収穫を祝う例大祭等、伝統行事に積極的に協力し、近隣自治会同士の絆を深めております。

また自治会活動とは異なりますが、近隣自治会有志で結成したボランティア団体「江川四季の会」の活動を通じて、郡ダム広場の草刈り、子ども達の通学路の整備・清掃、地域を流れる江川沿いの草刈り、植樹した桜の手入れ等に取り組み、地域交流を図っております。

この様な活動が、災害など有事の際には住民同士の絆や助け合いにつながると信じて活動しています。

「ひこばゆ」の読者の皆様に地域の活動、公民館活動に少しでも興味を持って頂けたら幸いです。